



議会だより 忠岡

第30号
令和7年 11月1日

◆発行／忠岡町議会 編集／議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎ 0725-22-1122(代)



写真：緑水園の秋

次回の議会日程

(令和7年)
(第4回定例会)
いずれも
10時より(予定)

12月3日(水)、4日(木) 本会議(一般質問)

12月5日(金) 本会議(議案審議)

12月9日(火) 総務事業常任委員会

12月10日(水) 福祉文教常任委員会

12月19日(金) 本会議(付託委員会報告、採決等)

もくじ

9月議会の議案審議状況 2ページ

補正予算・意見書一覧 4ページ

総務事業常任委員会・
福祉文教常任委員会報告 5ページ

一般質問(田辺みき・二家本英生)… 6ページ

一般質問(北村孝・森野良一) 7ページ

一般質問(河野隆子・河瀬成利) 8ページ

一般質問(高迫照子・今奈良幸子) 9ページ

一般質問(小島みゆき・尾崎孝子) 10ページ

決算審査特別委員会報告 11ページ

議員定数調査特別委員会報告 14ページ

ごみ処理施設調査特別委員会報告 15ページ

各種報告・編集後記 16ページ

9月議会の議案審議状況

9月議会の議案審議状況・意見書一覧

令和7年 第3回定例会 提出案件

議案番号	件名	議案内容	議決結果	所管委員会※
報告 第4号	令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	法令に基づく財政4指標の報告	報告	—
議案 第41号	令和6年度忠岡町下水道事業未処分利益剰余金の処分について	下水道事業会計における令和6年度の未処分利益剰余金を減債積立金へ積立て及び資本金へ組入。	可決 全会一致	総務事業
議案 第42号	物品購入契約締結について (車両一体型給水タンク車等購入(その2))	災害時、避難所の環境改善のため、車両一体型給水タンク車1台、設置型組立式給水タンク4台を購入する契約。2,222万円。	可決 全会一致	—
議案 第43号	物品購入契約締結について (循環型シャワーキット及び循環型手洗いスタンド購入)	災害時、避難所の環境改善のため、循環型屋外シャワーキット、循環型手洗いスタンドを購入する契約。906万3,384円	可決 全会一致	総務事業
議案 第44号	物品購入契約締結について (防災資機材購入)	災害時、避難所の環境改善のため、ワンタッチテントや蓄電池整備事業などの防災資機材を購入する契約。2,476万3,750円	可決 全会一致	総務事業
議案 第45号	忠岡町下水道条例の一部改正について	災害その他非常時の場合、他市町村の指定を受けた工事業者でも、排水設備等の工事を実施出来るようにし、早期復旧をさせるため。	可決 全会一致	総務事業
議案 第46号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)について	令和7年度普通交付税本算定に伴う増額、令和6年度の収支確定に伴う決算剰余金の処分。物価高騰対策の支援など。	修正可決	総務事業 福祉文教
修正案	令和7年度忠岡町一般会計補正予算(第5号)に対する修正案	議案第46号から小中学校給食費助成費用1,527万円を除く修正案	可否同数 議長採決 により可決	—
議案 第47号	令和7年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について	令和8年度に創設される子ども・子育て支援金制度の円滑な施行に向けて必要なママシステム改修等の費用774万円を計上。	可決 全会一致	福祉文教
議案 第48号	令和7年度忠岡町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	令和6年度決算確定に伴う決算剰余金を令和7年度へ繰越。また介護給付費等の費用確定に伴う清算金等の予算2,208万7千円を計上。	可決 全会一致	福祉文教
議案 第49号	令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	令和8年度に創設される子ども・子育て支援金制度の円滑な施行に向けて必要な後期高齢者医療システム改修の費用333万3千円を計上。	可決 全会一致	福祉文教
議案 第50号	令和7年度忠岡町下水道事業会計補正予算(第1号)について	本年1月に発生した道路陥没事故を受け、大規模下水道管路の特別重点調査費用760万6千円を計上。	可決 全会一致	総務事業
認定 第1号	令和6年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	令和6年度決算についての審査 (審査結果は14ページ、審査内容は11ページを参照)	認定 全会一致	決算特別 委員会
認定 第2号	令和6年度忠岡町下水道事業決算認定について		認定 全会一致	決算特別 委員会

※所管委員会…「—」:委員会付託なし(即日議決)、「総務事業」:総務事業常任委員会、「福祉文教」:福祉文教常任委員会

賛成と反対が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 議：議長

議案第46号		結	大阪維新の会・呈祥会				公明党		日本共産党			無会派	
原案	令和7年度忠岡町一般会計補正予算（第5号）について	果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
修正案	原案 補正予算より小中学校給食費助成費用1,527万円を除く修正案	可決	○	○	議	○	×	×	×	×	×	○	○

※可否同数により、議長採決の結果、修正案を可決。

原案 補正予算の小中学校給食費助成費用以外の補正予算案	結果	河瀬	今奈良	前川	尾崎	北村	小島	河野	高迫	二家本	森野	田辺
	可決	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○

(修正案) 反対 (原案) 賛成 意見	将来的には町財政に影響が出ると、担当部局からの答弁であったが、長引く物価高騰から必要
	物価高で子育て世代の経済的負担を軽減するため3学期分の無償化をすべき。財源も示されている
	財政調整基金は取り崩さず、更に今回の繰越金は全額積んでいる。物価高対策の原案には賛成
	総合計画にある「子育て世代が過ごしやすい環境の充実」のために給食費助成は必要な予算
(修正案) 賛成 (原案) 反対 意見	財源を生み出す体制づくりと物価高騰に対する政策の比較検討を計画的に実施していく必要がある
	一般財源を充当して町民全体への公平性を欠く給食費無償化に反対のため、それを除く修正案に賛成
	まず先に国や地方自治体へ物価高騰対策の交付金を要求し、交付金がついてから給食無償化をすべき
	給食無償化については地方交付税も考えず、比較検討もせず一般財源で行うのは持続可能な政策ではない



補正予算・意見書

・補正予算

議案第46号 令和7年度忠岡町一般会計補正予算（第5号）（原案）

1. 物価高騰の影響を受ける住民等への対応

- ①水道使用料減免事業（国の交付金、773万8千円を活用）1,416万2千円
 現在、実施している水道基本料金の全額免除について、2ヶ月延長
- ②町立小中学校給食費助成事業（※）1,572万円
 子育て世帯の経済的負担を軽減するため3学期分の給食費を補助

2. 前年度決算剰余金の処分

- ①財政調整基金積立金1億7,300万円
 令和6年度の収支確定に伴い、決算剰余金を財政調整基金に積み立て

3. 過年度事業の精算に係る経費

- ①令和6年度の事業費確定に伴う負担金等精算返還金（国）1,886万8千円

4. その他必要となる事業費

- ①防犯カメラ設置工事55万円
 町所有の忠岡駅前の防犯カメラの更新
- ②その他1,035万円

※議員より修正案が提出され、採決の結果、町立小中学校給食費助成事業は見送りと
 なりました。

・意見書

議案番号	件 名	議決結果
意見書 第5号	国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書（案）	否決 賛成少数
意見書 第6号	最高裁判決を受け生活保護利用者及び元利用者への補償を求める意見書（案）	否決 賛成少数

総務事業常任委員会報告（令和7年9月9日開催）

9月定例会に上程された議案のうち、総務事業常任委員会に付託された6つの案件について審査を行いました。

委員長 河瀬 成利 副委員長 河野 隆子

委員 北村 孝／森野 良一／尾崎 孝子 オブザーバー 前川 和也（議長）

審議結果一覧

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 委：委員長

議案番号	件名	討議	採決					議決結果
			河瀬	河野	北村	森野	尾崎	
議案第41号	令和6年度忠岡町下水道事業未処分利益剰余金の処分について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第43号	物品購入契約締結について（循環型シャワーキット及び循環型手洗いスタンド購入）	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第44号	物品購入契約締結について（防災資機材購入）	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第45号	忠岡町下水道条例の一部改正について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第46号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算（第5号）について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第50号	令和7年度忠岡町下水道事業会計補正予算（第1号）について	討論なし	委	○	○	○	○	可決 全会一致

総務事業常任委員会は行政機構の運営や管理、ごみ処理、産業振興、災害対策、消防救急に関することなどを協議、調査、審議します。

福祉文教常任委員会報告（令和7年9月10日開催）

9月定例会に上程された議案のうち、福祉文教常任委員会に付託された4つの案件について審査を行いました。

委員長 二家本 英生 副委員長 小島 みゆき

委員 今奈良 幸子／高迫 照子／田辺 みき／前川 和也

審議結果一覧

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席 委：委員長

議案番号	件名	討議	採決						議決結果
			二家本	小島	今奈良	高迫	田辺	前川	
議案第46号	令和7年度忠岡町一般会計補正予算（第5号）について	反対討論・賛成討論あり	委	○	×	○	×	×	否決 賛成少数
議案第47号	令和7年度忠岡町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号）について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第48号	令和7年度忠岡町介護保険特別会計補正予算（第1号）について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致
議案第49号	令和7年度忠岡町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	討論なし	委	○	○	○	○	○	可決 全会一致

福祉文教常任委員会は教育や子どもの福祉、生涯学習、高齢介護、地域福祉、健康増進に関することなどを協議、調査、審議します。

賛成と反対が分かれた議案

議案第46号		令和7年度忠岡町一般会計補正予算（第5号）について
反対意見	家計を支える必要性は認めつつも、公平性・持続性・説明責任の三点で課題が解消されないため	
	財源に一般会計、財政調整基金を充てることに反対。物価高騰対策ならば町民全体への公平性が必要	
	自民公明、そして維新の3党で給食無償化への合意がなされており、本町は他の課題に取組むべき	
賛成意見	全世帯の支援を考えるべきであるが物価高騰対策とのことから公明党も進めている給食費の助成に賛成	
	物価高で、子育て世代の経済的負担は大変。学校給食の無償化は子育て施策として必要	



田辺 みき 議員（無会派）



地域防災計画に基づく災害対策

問 下水道施設、道路の老朽化、耐震性について現状を問う

答 〈産業住民部長〉 下水道施設は新浜地区の管路、雨水ポンプ場の機械、装置設備が耐用年数を超過している。道路、橋梁は耐用年数内である。超過施設への調査、更新事業の実施を予算範囲内で対応していく。下水道施設のすべての管路、雨水ポンプ場の管理棟はレベル 2 とレベル 1 の耐震性を有し土木部分、沈砂池は令和 7 年と 8 年度で耐震診断調査を実施する。

問 全国的に深刻な技術者不足の中、本町土木課の現状と今後について問う

答 〈産業住民部長〉 本年 3 月末まで 5 名の土木技術職員が在籍していたが、現時点は 1 名体制。欠員補充に努めつつ自治体の積算設計、施行管理を支援する公益法人を活用するなど外部委託により人材的な安定性を確保し、土木課所管施設の適正管理、災害時の早期復旧に資する有効な手段になると判断する。

問 地区防災組織の中心を担う自治会の持続可能性を見据えた取組みについて現状を問う

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 自治会加入率は概ね 7 割を超えて推移し、地域活動の基盤として一定の基準が確保されている一方で、担い手不足の課題があることも認識している。自治振興協議会による自治会加入促進実施事業経費に 5 万円を補助している。忠岡小学校区自主防災組織にて地区防災計画作成ワークショップを全 3 回開催し本年度作成の見込みである。

問 要配慮者個別支援計画作成の進捗、支援者選定の課題について問う

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 令和 6 年度に避難行動要支援者支援事業検討チームを立ち上げ来年 4 月運用開始に向け協議を進めている。災害時要支援者の安否確認、避難支援をプレッシャーに感じるために支援者確保を難しくしている課題がある。



二家本 英生 議員（日本共産党）



災害時の避難所について （電源確保・福祉避難所）

問 指定避難所であるシビックセンターの電源は、災害本部の機能維持として約 8 時間しかなく不十分である。また、ふれあいホールがある南館は電源が繋がっておらず、避難時の生活環境を整えるためには、安定的な電源確保が重要である。自家発電の更新についての考えは。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 防災の観点から大規模災害時には少なくとも 7 2 時間の電源確保が必要と認識している。また、避難所における生活環境の維持は心身の健康を守る上で重要と認識しており、物資の備蓄、運営体制の強化に努める。

答 〈町長公室長〉 庁舎管理として、BCP 対策を念頭に置き、関係部署と連携を図り、本町施設の現状に最適な機器の設置に向けて、調査・研究をする。

問 福祉避難所については、民間施設と協定を締結してから、10 年以上経過している施設も多い。受入体制の再確認と要配慮者の避難所の拡充の検討を。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 改めて関係部局や関係機関等の連携を強化し、要配慮者が安心して避難できる環境づくりに取り組む。また近隣市の事例を参考にし、本町の実情に応じた要配慮者の避難環境の確保について、検討を進めたい。

環境保全について

問 地域環境を守るためには、旧クリーンセンターが稼働中の時よりも環境を悪化させない「現状非悪化の原則」が重要である。忠岡町が現在、進めているごみ処理事業の計画においても、以前の環境よりも悪化させないことが大前提である。町長のお考えは。

答 〈町長〉 環境保全の立場から、現状よりも環境が悪くならないようにすることが大切。公民連携方式のごみ処理施設の事業計画は、環境への影響が懸念されることから、中止に向けて努力したい。



北村 孝 議員 (公明党)



リチウムイオン電池について

問 暮らしに身近な製品に搭載されているリチウム電池、不適切な使用や管理による発火事故が相次ぐ、本町の事故防止に向けた取組みを伺う。

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉令和7年4月15日には環境省から「市町村におけるリチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策について」通知文が発出され、リチウム蓄電池等の適正処理に関する方針と対策が示されているところでございます。本町におきましても、広報9月号のエコレポで掲載しておりますが、処分について住民に対し周知を図ったところである。製造メーカーが判明しているものについては、住民さん自ら問い合わせの上、処分をお願いするところではあります。メーカーが不明や膨張しているものについては、家庭ごみや粗大ごみと一緒に排出されるなどの誤った処分により、重大事故を防ぐために町で一旦保管し、処分する方向で検討を進めている。

焼却施設について

問 公約で、仮称エネルギーセンター焼却施設誘致計画の中止・白紙を訴え広域処理を目指すと言われていたがその後の進捗状況を伺う。

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉協定締結時の岸和田市域、貝塚市域以外のごみ以外は受け入れないといった地元地域との協定があることから、本町のごみの受け入れはできないといった回答でありました。町長におかれても岸和田市長を訪問され地元との協定などの問題もありますとのことで、まだはっきりしたお返事をいただいたわけではない。

答 〈町長〉公約で仮称エネルギーセンターの焼却施設の計画の中止に向けてごみ処理は広域を処理を目指すことを掲げているので、その方向で努力していく。期日においては相手のあることから時間もかかることであると思うが努力していく。



森野 良一 議員 (無会派)



町長選挙公約について

問 選挙公約である国民健康保険料と介護保険料の引下げについて伺います。是枝町長から保険料引下げについての明確な指示はあったのでしょうか

答 〈健康福祉部次長兼保険課長〉指示はありません。国民健康保険料については大阪府全市町村が完全統一をしていますので、本町が単独で保険料を引下げるという事は現実的ではございません。介護保険料につきましても引下げの指示はございません。介護保険料につきましては、介護給付費の伸びに伴い、令和9年度からの計画期間の保険料基準額は上がる見込みです

問 もう、「あれは嘘やった」と言っているんですか

答 〈町長〉嘘ではございません

入札制度改革について

問 前町長による最低制限価格の漏洩による官製談合事件を受けて、選挙公約でもある最低制限価格の事前公表や入札制度改革も行わず、再発防止策はどうなっているのか

答 〈町長公室長〉検証の結果、入札事務の流れに問題は無く、守秘義務を課せられている首長が漏洩をしたという首長のモラルの問題であるため、コンプライアンスの徹底が最優先と考えています。またデメリットが懸念される最低制限価格の事前公表につきましては、並行して調査研究を進めてまいります

地域エネルギーセンターについて

問 ゴミ処理の広域化についての進展はどうか

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉岸和田市・貝塚市清掃施設組合へ意向のヒアリングを行いました。地元地域との協定があることから本町のごみの受け入れは出来ないとの回答でした

問 是枝町長も8月19日にこの件で岸和田市長を訪問されているが結果はいかがでしたか

答 〈町長〉まあ、その日に岸和田市長を訪問いたしまして、その中で地元との協定などの問題がありますという事でした



河野 隆子 議員（日本共産党）



産廃焼却炉誘致の 環境影響評価方法書について

問 事業者が大阪府に出す方法書は半径3キロ。忠岡町全域が入っていない。これでは忠岡町民への影響が分からないではないか。公民連携と言いながら、環境影響評価は事業者がつくって、忠岡町はまったく関与しない。範囲を広げるべきである。このことについて、忠岡町はどうお考えか。

答 〈町長〉 忠岡町民に環境への影響が分かるようにするというのが忠岡町の役割であると考えている。範囲を広げるよう、環境アセスメント制度の中で反映できるように考えていきたい。

防災計画について

問 地域防災計画が来年度改定されるが、地域防災計画の中で実際の避難訓練も必要だと思うが、いかがお考えか。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉 地域と協力しながら、より実践的で効果的な訓練が実施できるように積極的に取り組んでいきたい。

公園に遊具の設置を

問 安全性や老朽化で、向井田公園のすべり台が撤去された。新たな遊具の計画を。

答 〈産業住民部長〉 障がいのある子もない子も、誰でも遊べる、ユニバーサルデザインの視点で整備していきたい。

子どものインフルエンザ 予防接種の補助を

問 高い接種料の助成をし、受けやすいよう経済的支援を。

答 〈健康福祉次長兼保険課長〉 任意接種のため、公費助成は現段階では考えていない。



河瀬 成利 議員（大阪維新の会・呈祥会）



町長公約のごみ処理の 広域化の推進について

問 町長就任後の公約である、ごみ処理の広域化に関する具体的な取組内容とその成果について。

答 〈産業住民部次長兼生活環境課長〉 広域化については、具体的には、岸和田市貝塚市清掃施設組合への参入、もしくは事務委託の方向で検討を行う旨の町長意向を受けて、6月3日に事務方レベルで相手方組合へ履行等のヒアリングを実施した。相手方におかれては、協定締結時の岸和田市域・貝塚市域以外のごみ以外は受け入れないといった地元地域との協定等があることから、本町のごみの受け入れはできないといった回答であった。

就学前教育・保育の取組み状況 並びに小中学校との連携について

問 令和5年4月から東忠岡幼稚園と東忠岡保育園を一本化し東忠岡こども園が開園した。開園から3年目を迎え当初の予定通りに進み、成果がでているのか。

又、子どもの人数が減少しているなか今後町全体での園児数の推移・見込み等はどうなっているのか。

答 〈健康福祉部長〉 人口減少により子どもの人口も減少傾向で令和5年4月時点での0歳から5歳の人口は651人であったが令和7年4月時点では607人で44人減少している。この中でも0歳児から2歳児の入園児童数が66人から71人と増加しているのは、共働き世帯の増加によるものである。このことから今後も人口減少は続くであろうが、こども園のニーズとして一定継続していくものと考えている。

問 本町のこども園と小中学校との連携についての具体的な取組みはあるのか。

答 〈健康福祉部長〉 小学校の音楽朝礼の際に年長児と一緒に楽しんだり、職員間でお互い見学をする交流を今年度から実施している。又津波に対応した避難訓練をこども園と小学校が合同で実施する予定がある。今後もこども園と小学校との連携教育について積極的に進めていきたい。



高迫 照子 議員 (日本共産党)



産業廃棄物焼却炉について

問 巨大産廃炉 220 t の誘致計画は、環境が今より悪化するのは明らかである。住民の声として、大気汚染が一番心配。化学物質は 10 ～ 20 年後の後追いで出るから怖い。何より心配はダイオキシンの拡散。これから生きる子どもたちのために環境をよくしてほしいなどあるが、住民のくらしの環境を守る町の立場からどうお考えか。

答 〈町長〉ごみ処理の公民連携事業計画は、環境への影響が心配されるから、中止に向けて住民のごみ処理方法を確認するために、広域処理に向けて取り組みたい。

こども誰でも通園制度

問 この制度は来年 4 月から始まり、全ての子どもの育ちを応援するもので一定意義があるが、全世代加入の公的医療保険の上乗せ分を財源にして、子育て支援をしていく仕組みはどうかと思う。こども誰でも通園制度は通常保育に影響はないか。

答 〈健康福祉部長〉別棟で行うので心配ない。

女子トイレに生理用品を

問 日本でも生理に対する社会の支援が広がりつつあり、トイレットペーパーを置くように生理用品を設置してほしいとの願いは強くなっている。町内の多くの方が利用する公的施設に設置を。

答 〈産業住民部次長兼住民人権課長〉生理用品はトイレットペーパーと同様に、必要不可欠な生活必需品となっている。試験的に役場内に設置したが、予算や設置場所も含め正式導入に向けて検討する。

問 中学校、小学校高学年の女子トイレにも設置を。

答 〈教育部長〉保健室で直接渡している。衛生面、管理面から、現時点では考えていない。



今奈良 幸子 議員 (大阪維新の会・呈祥会)



ペット防災への取り組みについて

問 早期対策を求める。

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉マニュアル整備に至っていない。まずは自助として取り組んでもらうべく啓発する。

学校体育館空調整備①・
公共施設の利用②について

問 ①空調整備の進捗は。②施設利用について住民の意識を高めるべき。

答 〈教育部長〉①令和 6 年度に調査開始、早期設置に努める。②適切に利用してもらうよう努める。

学校教育①②③④・
子育て支援⑤について

問 ①学校司書を活用すべき。②成長に応じた読書活動の推進を。③本町全体で性・生教育の実施を。④ユースセンターについての考えは。

答 〈教育部長〉①小学校に週 3・4 日司書を配置し教員と連携中。②計画に反映する。③調査研究する。④調査研究する。

問 ⑤離婚前後親支援事業の実施について。

答 〈健康福祉部長〉⑤窓口相談時に実施中。

町財政(基金)について
町長の認識を問う

問 ①基金運用の状況。②財政に果たして余裕はあるのか。基金運用を積極的に行うのか。③財政運営基本方針の策定は。④補助金の改革は。

答 〈会計管理者〉①9月1日より国債運用を開始。年限の短い国債を分散購入する。

答 〈町長〉②財政調整基金額が増えたことを余裕と表現した。行う。④これから検討。

答 〈町長公室長〉③素案が出来次第庁内調整を実施。

公民連携ごみ処理事業について

問 ①公民連携を白紙にし広域化する根拠は。②広域化での住民利益とは。③広域化が環境負荷軽減になるのか。④公民連携に賛成する住民にはどう理解してもらうのか。

答 〈町長〉①環境影響が大きいから。②単独処理が難しいので広域処理を目指す。③汚染物質排出が現在より軽減する。④議論しながら理解してもらう。



小島 みゆき 議員（公明党）



結婚新生活世帯（新婚）への 助成について

問 人口減少、少子化問題は避けて通れない状況。助成をする事で新婚生活を考え、子育てへと繋げ、定住も考慮されるのではないかと。

答 〈町長公室長〉有効な施策だが財源を考慮して検討する。

誰もが安心して授乳や 搾乳できる環境づくりについて

問 出産や子育てへの支援を充実するため、授乳室でも搾乳しやすい工夫や、職場で安心して搾乳できる環境づくりに取り組むべきであり、保健センターの授乳室にも搾乳の表示と周知を。

答 〈町長公室長〉案内をわかりやすく表示し、利用しやすい環境整備に努める。

問 図書館や文化会館などの公共施設に授乳室設置を。

答 〈教育部長〉文化会館は老朽化しており、大規模な改修が必要、その際には整備は必要不可欠だが、今は空いている部屋を利用しているが、案内が無いので周知する。

高齢者のお助けについて

問 終活相談（エンディングサポート）支援を取り組むべきでは。

答 〈健康福祉部長〉今後、相談は増えると想定している。実施している他市町の取り組みを参考に調査・研究する。

問 出かける手段（送迎してくれる人）がない高齢者の方のお出かけの機会への支援を。

答 〈健康福祉部長〉福祉バス以外での支援については調査・研究する。

福祉バスについて

問 町長は、議員の時に福祉バスの増便や休日運行も要望されていましたが、現在の状況は。

答 〈町長〉増便や休日運行は、利用者ニーズの確認が必要。アンケートや実証実験の実施について検討する。

問 住民さんのお声を聞き、お出かけの機会の支援のためにも福祉バスの増便など、取り組みを進めるべきでは。

答 〈町長〉高齢者が元気に生活できるよう支援も頑張っていく。



尾崎 孝子 議員（大阪維新の会・呈祥会）



防災対策について

問 ①スマホが防災行政無線になるアプリ「コスモキャスト」の導入は？また、ホームページやLINEなどとの一元化は？②防災への意識づけが強いリーダー育成のためにも防災士の資格の取得補助を③小中学校の避難所設営、校舎全体の活用は？

答 〈町長公室次長兼秘書人事課長〉①コスト面で精査中。一元化は、他市町村の事例等を参考にしつつ研究する。②単純な資格取得補助ではなく、効果的な方法を検討する。③昨年12月より小中学校3校の施設管理者と、スペースの確保、要配慮者や資機材の保管等の協議を進めている。

地域フォーミュラリ・ 学校薬剤師からの指導について

問 災害時、地域での医薬品の備蓄リストの整備が必要。地域での推奨医薬品のリストのことを「地域フォーミュラリ」といい、八尾市でのモデル事業がある。本町では？

答 〈健康福祉部次長兼保険課長〉各々の行政機関との調整が重要、引き続き国や府の動向を注視する。

問 学校薬剤師が、学校環境衛生検査から給食室の冷蔵庫の水漏れや米飯食器の老朽化を指摘・指導したことについて

答 〈教育部長〉設備の改善について。米飯食器は、毎年度一定数を計画的に購入し、順次入れ替えている。

問 美味しい給食を作ってもらうためにも環境改善や校舎などのハード面に予算を

答 〈町長〉計画的に進めたい。

地元の人手不足解消と多様な 働き方（スキマバイト）について

問 地元企業だけが登録でき、利用者もシニア層、子育て中の方もいる泉佐野市公式「マッチボックス」というスキマバイトのアプリがある。本町も泉州地域エリアで展開してみても？

答 〈産業住民部長〉関連企業や近隣市町から連携について具体的な提案があった際には、庁内で要否を検討する。

令和6年度決算審査特別委員会 審査報告

・開催日：令和7年9月16日・17日・19日
 ・委員長：尾崎 孝子（大阪維新の会・呈祥会） 副委員長：河野 隆子（日本共産党）
 委 員：今奈良 幸子（大阪維新の会・呈祥会）・北村 孝（公明党）・森野 良一（無会派）
 オブザーバー：前川 和也 議長

○ 一般会計決算の状況

■ 歳入決算額 78億763万1千円（前年度比10.9%の減）

前年度と比べて9億5,117万4千円の減額となった。

主な要因は、公共施設整備基金繰入金、シビックセンター等ESCO事業債や町民運動場防災倉庫等整備事業債などの地方債の反動減や繰越金が減となったことによる。

■ 歳出決算額 76億359万2千円（前年度比12.1%の減）

前年度と比べて10億4,744万7千円の減額となった。

主な要因は、シビックセンター等ESCO事業、町民運動場改修事業や東忠岡地区認定こども園整備工事などの大規模な事業の完了に伴い、投資的経費が減となったことによる。

○ 決算収支

令和6年度の歳入歳出差引額（形式収支）は2億403万9千円の黒字となった。

区 分	令和6年度	前年度	増減額
歳入決算額	78億763万1千円	87億5,880万5千円	△9億5,117万4千円
歳出決算額	76億359万2千円	86億5,103万9千円	△10億4,744万7千円
差 引 額	2億403万9千円	1億776万6千円	9,627万3千円
[令和6年度 主要な施策・事業] (金額：千円未満は四捨五入)			
・ 広報誌、ホームページ、LINE、Instagram 事業 1,008万6千円		・ 放課後児童健全育成事業運営管理等業務委託 2,180万円	
・ 地域子育て支援拠点事業 3,383万8千円		・ 消防本部庁舎仮眠室等個室化改良工事業 4,548万2千円	
・ 民間就学前施設運営費補助事業 3,077万2千円		・ 新浜集会所解体撤去工事業 3,538万7千円 など	
・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 851万4千円			

■ 特別会計決算の状況

会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差 引 額
国民健康保険事業勘定特別会計	17億4,438万5千円	17億4,278万2千円	160万3千円
介護保険特別会計	17億4,832万7千円	17億2,695万円	2,137万7千円
後期高齢者医療特別会計	5億7,822万5千円	5億7,051万4千円	771万1千円

・ 国民健康保険事業勘定特別会計

令和6年度の国民健康保険事業勘定特別会計決算は、歳入で17億4,438万5千円、歳出で17億4,278万2千円となり、前年度に比べて歳入は6,416万3千円(3.5%)の減、歳出は5,833万5千円(3.2%)の減となった。

・ 介護保険特別会計

令和6年度の介護保険特別会計決算は、歳入で17億4,832万7千円、歳出で17億2,695万円となり、前年度に比べて歳入は3,694万3千円(2.2%)の増、歳出は6,748万6千円(4.1%)の増となった。

・ 後期高齢者医療特別会計

令和6年度の後期高齢者医療特別会計決算は、歳入で5億7,822万5千円、歳出で5億7,051万4千円となり、前年度に比べて歳入は3,606万2千円(6.7%)の増、歳出は3,778万円(7.1%)の増となった。

■ 下水道事業決算の状況

令和6年度の下水道事業決算は、収益的収支差引額が7,544万5千円の純利益となり、資本的収支差引額が4億126万9千円の収支不足となった。この収支の不足は前年度の利益(減債積立金)や減価償却費等で補填する。

質疑応答 <部局ごとの質疑>

問 選挙の投票率が府平均に届かない理由と選挙公報ポスティング業務についての現状は。

答 選挙・時期によるため、調査研究を行っている。GPS を持ちルート確認するも投函漏れがあり、抜き取られた事実も確認したため対応中。

問 本町の地域の担い手づくりについて社会福祉協議会とどのように考えているのか。

答 難しい問題であり、自治会等色々なところで困っている。地域と会話しながら考えていく必要がある。

問 消防車による両小学校登下校時に見守りパトロールを9回行った経緯は？

答 通常パトロールはしているが、不審者の出現や交通事故にあわない対策として協議して実施した。

問 令和6年度から実施した補聴器補助で、助成を受けたのは4名である。対象者は65歳以上で非課税世帯であるため、対象を課税世帯と年齢の引き下げの検討をされること。

答 補助事業の実績や効果を見て、検討する。

問 傷んでいる河川公園のベンチの修理計画を早急にされること。

答 現状を見ながら考えていきたい。

問 忠岡町の国民健康保険料が令和6年度で大阪府の完全統一保険料になった。モデルケース（所得200万円の夫婦子ども2人）で45万6千円、所得の2割の高い保険料である。保険料の抑制、減免制度の拡充の検討をされること。

答 大阪府のルールを守っていかなければいけない。

問 ESCO 事業が完了し、昨年から稼働していますが、効果額を示してください。

答 シビックセンター、消防本部、文化会館、道路等の4施設をESCO事業で実施いたしました。電力の削減率は44.7%の削減効果がございました。金額につきましては、ベースラインと言うものがございまして、令和元年度から3年度までの平均の電力をベースラインとしており、削減見込み予定額は1,810万円でありましたが、最終的には2,282万円の効果が出ています。

問 シビックセンター駐車場スペースの改善。

答 駐車場の幅の拡幅につきましては、現在積算中でございまして、鋭意取り掛かっていく段取りとさせていただきますので、もうしばらくお時間をお願いいたします。

問 3月末に庁舎玄関がリニューアルした。一目で見てわかる案内版もあり、デジタルサイネージが2台ある。その金額は？

答 公民連携で、1台は民間企業のCM、2台目は行政の案内盤であり、広告料で賄っていて、町の支出はない。

問 地域活動支援センター事業で、ひまわりハウス実人数4人となっているが、その活動内容は？居場所づくりになるように周知を望む。

答 文化会館で活動している。B型就労支援に通う人などが息抜きに参加している。周知していく。

問 心身障がい者（児）等通園費扶助の内容は？

答 公共の交通手段を利用できる心身障がい者（児）の通学、通勤の交通費の扶助をするものである。

問 社会福祉費の部分で1人暮らし高齢者の水道料金補助金について、実施している市町村はどんどん減ってきているが、忠岡町としては今後どうしていくのか

答 忠岡町としては現時点ではこの事業は続けていく予定です。

問 保険料の徴収部門を分けたことによるメリットとデメリット

答 デメリットはほとんどない。滞納される方は保険料以外にも税等も滞納されているケースが多いので徴収部門が一元的に管理できることがメリットになる。

問 泉北就職情報フェアについて。

答 今年度の開催は11月28日金曜日、高石市のアブラホールで1時から4時までとなっています。現在のところ忠岡町からの参加事業者は1社で、まだ事業者を募集しております。



総括質疑 <大局的な質疑>

問 令和5年度の決算審査特別委員会での質問として、町民の協働という観点での課題として担い手不足があり、愛着がもてる場づくりが必要であるとの答弁であった。令和6年度の取り組みはあったのか。

答 施策を作るには至っていない。できる限りそういった場を設けるように頑張ってみたい。

問 令和6年度は年度を通じて教育長が不在であった。教育行政執行という部分で停滞や延期になったものはなかったのか。

答 さまざまな課題はあるが、遅れていたというわけではない。引き続き、取り組みの実現とさまざまな課題の解決に向け取り組む。

問 財政調整基金の考え方が経営戦略課長と町長との違いがあるのではないか。

答 課長は財政を預かる身として、きちんと守っていかないとけないという立場であるという、立場の違いがあり、ぴったり全く一緒と言うことにならないと思います。よく担当の話をお聞きして、そして担当課とよく話をし、施策を実行していくために提案をさせていただきたい。

問 黒字決算となり1億7300万円財政調整基金の積み増ができています。今後の財政運営における基金残高についてどうお考えか。

答 令和7年度当初予算において今後必要となる老朽化施設整備を含まずに約12億の収支不足が生じ、予算査定で削減して2億7千万円の基金取崩しのために留めた。将来的な歳出増を考えると後年度以降も財政調整基金の取崩しが想定される。将来を見据えて公共の継続性、持続可能なまちづくりのため財政運営を行いたい。

問 必要な介護サービスが受けられず、区分変更申請しても介護度が上がらないという声がある。必要な人が必要なサービスを受けられるようにすること。

答 サービスが足りずに困難がある場合は区分変更を案内している。現場確認に努めます。

問 産廃事業者から環境アセスの方法書が出されたが半径3キロで町全体が入っていない。

答 全住民にどのような影響が出るか知らせることは町の責務である。町全体が環境アセスの範囲内になるようにという意見は提出していく。

令和6年度決算に対する意見集約

賛成

無会派

令和6年度一般会計決算におきましては、財政調整基金を取崩すことなく各基金残高においても、積上げることが出来た事はいい結果でありました。しかし歳入を見ますと、本町の自主財源である個人町民税とふるさと応援寄付金の減少が気になります。寄付金においては来月から制度が変更され、利用者の減少が予想される中、担当部局におかれましては税収の確保に向けて一層取り組んでいただきますようお願いいたします。

歳出においては、老朽化公共施設の改修や各種インフラ整備など令和6年3月に改訂された忠岡町公共施設等総合管理計画に基づいた支出の増加が見込まれますので、より慎重な財政運営を心掛けていただき、令和6年度決算を認定します。

公明党

令和6年度決算であります。財政調整基金を取り崩すことなく黒字になった。シビックセンター等のESCO事業でこれまでの光熱費と比較すると、全体で44.7%の効果が出た。又、仮称エネルギーセンターが令和15年の稼働予定によりこれまでの焼却炉の停止により3,500万円の削減ができた。国民健康保険については経過措置も終わり大阪府全域で同じ保険料で医療が受けられる世界に誇れる持続可能な保険制度である。引き続き職員の皆様の鋭意努力をされることを期待し、財政健全化に取り組んでいただくことを願い、本決算を認定いたします。

令和6年度は1億7,390万円の黒字でした。物価高で厳しい状況が続く中、住民へさらなる支援が必要。活用のバランスを考え、町長は住民福祉の向上に取り組むとのこと。年度末に明らかになった官製談合の対策は、防止策を検討されています。制度の改善を求めます。産廃焼却炉建設を含む公民連携事業については、町は環境を守る立場でありながら、役割を果たしておらず、不安の声に応えず、計画を進めるのは認められません。国保・介護・後期高齢者会計については、負担軽減に努力するよう要望します。

新しい町長のもと、公平・公正な町政運営をおこない、住民の声を聞き、必要な支援を届け、住民福祉の増進に寄与して頂くことに期待します。

令和6年度は物価高や円安・人手不足が続く中、暮らしの支えを切らさず教育・福祉・防災へ無理のない財政で着実に投資する現実的な舵取りが求められた一年でした。財政調整基金の取崩しはなく、経常収支比率は98.6%と前年度比1.3ポイント改善したものの、分母・分子がともに増加しており先行きの悪化リスクは否めません。各特別会計・下水道事業会計は、社会情勢の変化に対応し、健全運営の徹底を要望します。一般会計においても、スクールカウンセラーの来校日数・時間拡充、役割の明確化と広域・公民連携、町民協働による重複投資の抑制と自主財源強化、現場の声を生かした適正な使用料徴収等により持続可能性の向上を求め、決算を認定します。

審査結果

上記決算審査特別委員会の結果を受け、「令和6年度忠岡町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定」並びに「令和6年度下水道事業決算認定」については、全会一致により認定することに決定いたしました。（議決結果については2ページ参照）

忠岡町議会 議員定数調査特別委員会 これまでの経過報告

委員長／今奈良幸子 副委員長／二家本英生

委員／河瀬成利、北村孝、小島みゆき、高迫照子、河野隆子、森野良一、田辺みき、尾崎孝子
オブザーバー／前川和也 議長

令和5年12月議会にて、本町における適正な議員定数についての調査・研究を行うために、「議員定数調査特別委員会」が設置されました。

- 第1回(令和6年3月)：委員会の進め方について協議し、講師をお招きして考え方を学ぶことにより、委員各位の意見を集約し、事務局と講師の選定を行った。
- 研修会(令和6年7月(議会日より第26号16頁参照))
講師より、住民自治の根幹としての議会であることや、
 - ①答えのないテーマであること ②議員報酬と定数は別の論理
 - ③行政改革の論理とはまったく異なる議会改革の論理
 - ④現在の議員のためではなく、多くの人が将来、立候補をし、議員活動がしやすい条件として考える
 - ⑤現状維持並びに削減する場合は、住民による支援が不可欠
 - ⑥住民とともに考える議員報酬・定数であること、等々を学ぶ
- 第2回(令和7年2月)：今後のスケジュールについて協議を行った。
- 第3回(令和7年7月)：町議補欠選挙により新しく3名が委員となったため、今までの流れを改めて説明。
- 第4回(令和7年8月)：各委員が「適正な定数」と「示した定数の根拠」について発言し、活発な議論が行われた。
- ※第5回は、令和7年10月16日に開催しました。内容については、今後、報告いたします。

忠岡町ごみ処理施設調査特別委員会(第14回)

開催 令和7年9月26日

委員長 / 北村 孝 副委員長 / 河野隆子

委員 / 河瀬成利、今奈良幸子、小島みゆき、高迫照子、森野良一、田辺みき、
尾崎孝子、二家本英生

オブザーバー / 前川和也 議長

忠岡町クリーンセンターの土壤汚染状況調査等業務について経過報告がありました。
令和7年度では、前年度実施の土壤汚染状況地歴調査の結果に基づき、重金属類(水銀、セレン、鉛、砒素及びそれらの化合物)について60地点、ダイオキシン類について10地点の試料採取を行い、公定法分析を実施した。結果として、1部区画において基準値超過が見られたことから、今後、汚染位置と汚染深さを特定するための追加調査を実施することとなりますとの説明がありました。

質疑応答

問 ダイオキシン類の再調査で「接する単位区画で基準値超過が見られなくなるまで分析を行なう」とあるが、隣接する元し尿処理場の土地の調査は。

答 所管行政庁に確認したところ、別事業者となり調査対象外となる。

問 土壤汚染状況調査結果の分析一覧表を見ると、鉛と砒素が基準値超過の所がある。そこは何の跡か。

答 鉛は木皮焼却炉の煙突の跡地で、砒素は旧クリーンセンターの灰の積み出し場である。

問 産廃事業者から環境影響評価方法書(環境アセス)が大阪府に出され、忠岡町で縦覧が始まっている。住民から意見が出せるが、広く知らされていない。縦覧場所に貼り紙などや、町の公式LINEでもお知らせし、広く周知されよ。

答 ご意見として頂戴します。



令和7年度大阪府町村議長会議員セミナー

開催日時：令和7年8月22日(金)

14時30分～16時00分

場所：シティプラザ大阪2階「旬-SYUN」

講演テーマ：自治体が取り組む「防災 DX」

講師：関西大学社会安全学部

教授 永田 尚三 氏



大阪府町村議長会の主催で、関西大学教授 永田 尚三氏の講義によるセミナーに議員10名で参加いたしました。

講義内容は、過去の大規模災害による甚大な被害を教訓とした防災意識の高まりを背景にこれからも起こりうる大規模災害に対し、デジタル技術を駆使したあらゆる備えにより人命を守る取り組みについて学びました。

防災 DX の最適化により、災害時の情報共有や効率的な資源配分が可能になりますが、データ共有、標準化のためには、行政組織間、民間と行政間にある垣根を乗り越えなければならないなどの課題もあることがわかりました。

最新のデジタル技術による防災 DX の実際について知り、改めて市町村の地域防災(地域の公助・共助体制)の重要性が再認識されていることも知り、誠に有意義な学びの機会とさせていただきました。

今後とも町民の皆様の安心、安全な暮らしを支えていくための持続可能な町政運営に向けて前向きな議論を深めて参ります。

タブレット端末を導入しました

議会のデジタル化、ペーパーレス化を推進するためタブレット端末及びペーパーレス会議システムを導入いたしました。9月から本格的な運用が始まり、少しずつ操作に慣れていっている最中です。住民に開かれた議会の実現のため、今後もデジタル化を推進してまいります。



おおさか市町村職員研修研究センター 開設 30 周年記念事業 (令和 7 年度市町村トップセミナー)

開催日時：令和 7 年 10 月 7 日（火）
場 所：シティプラザ大阪 2 階
テ ー マ：「人口減少社会における
地方創生のあり方」
主 催：公益財団法人大阪府市町村振興協会

大阪府内の市町村長、正副議長、幹部職員が集まり以下の各分野の有識者による基調講演とパネルディスカッションを通じて人口減少が進んでいくなか持続可能な地域社会の構築と地方創生の新たな視点やアイデアについて考えた。

- | | |
|--|---------|
| ・大正大学 公共政策学科 教授 | 片山 善博 氏 |
| ・西南学院大学 法学部 教授 | 勢一 智子 氏 |
| ・大阪大学大学院 法学研究科 教授 | 北村 亘 氏 |
| ・公益財団法人 大阪府市町村振興協会 理事長
高槻市長 | 濱田 剛史 氏 |
| ・おおさか市町村職員 研修研究センター 所長
関西大学 経済学部 教授 | 林 宏昭 氏 |



大阪府町村議長会 8 月「定例総会」

開催日時：令和 7 年 8 月 1 日（金）
場 所：大阪府新別館南館 5 階

大阪府内 10 町村の議会議長が集まり以下の議題について協議を行いました

【議 題】

- ・令和 8 年度大阪府施策並びに予算に関する要望について
- ・令和 6 年度大阪府町村議長会事業報告について
- ・令和 6 年度大阪府町村議長会一般会計歳入歳出決算について
- ・その他
令和 7 年度正副議長等研修会について
令和 7 年度市町村トップセミナーについて
議会の主権者教育リーフレットについて

編集後記

11 月に入り、秋の深まりを日増しに感じる季節となりました。

皆様におかれましては、いかがお暮らしでいらっしゃるでしょうか。

議会だより忠岡第 30 号では、9 月定例会のご報告をさせていただきます。

令和 6 年度決算審査をはじめ、議案審議、一般質問、常任委員会、特別委員会において、活発なる議論が交わされました。

地域の皆様から寄せられる貴重なご意見、ご要望をお伺いしつつ、広く町民一人一人の公益に資するための持続可能な町づくりを目指して今後とも誠実に取り組んで参ります。

引き続き、お困り事やお気づきの事など、よりよい町政にむけて貴重なご意見を賜りますようお願いいたします。

今月は、恒例の地域行事も開催されますので、皆様お揃いでお出かけいただければ幸いです。

- 「忠岡町商工カーニバル」：11 月 9 日（日）
10 時～15 時
於 忠岡町民グラウンド
- 「忠岡町ふれあい大会」：11 月 23 日（日）
於 忠岡町役場保健センター
- 「忠岡みなとマーケット」：11 月 30 日（日）
於 忠岡漁業会館前

忠岡町議会広報委員会